

未来への投資

老朽化対策の推進 予算額 10億2千5百万円(R2:15億円)		
区分	主な内容	事業費
末端給水	【状態監視保全と時間計画保全による適切な管理】 水質自動測定装置等更新工事(上田)、残留塩素計更新工事(川中島)ほか	256,526千円
	【他工事関連による布設替】 坂城地区南条金井工区配水管移設工事(上田)、 布施高田1工区配水管布設工事(川中島)ほか	233,000千円
	【有収率向上対策】 塩化ビニル管の布設替(上田1.2km、川中島1.4km)	213,100千円
小計 (R3債務負担 550,000千円)		702,626千円
用水供給	【状態監視保全と時間計画保全による適切な管理】 薬品注入設備取替工事 ほか	321,748千円
	小計	321,748千円
合計 (R3債務負担 550,000千円)		1,024,374千円

耐震化の推進 予算額 11億1百万円(R2:10億円)		
区分	主な内容	事業費
末端給水	【重要給水施設(※)へ至る配水池(5か所)の耐震化】 上田:2か所 [R3:耐震化5か所中3か所(目標:R4 100%)]	25,000千円
	【基幹管路の耐震化】 上田:6か所(0.7km)、川中島:13か所(2.1km) [R3:耐震適合率95.5%(目標:R6 100%)]	810,000千円
	【重要給水施設へ至る管路(基幹管路以外)の耐震化】 上田:2ルート(0.13km) [R3:進捗率72.1%(目標:R5 100%)]	22,000千円
小計 (R3債務負担 642,000千円)		857,000千円
用水供給	【基幹施設(浄水施設)の耐震化】 本山浄水場排水処理施設耐震化等設計業務 [R3:耐震化(投資累計額)67.0%(目標:R6 100%)]	20,000千円
	【管路の耐震化】 送水施設支線管路耐震管布設工事(東山支線)(2.4km) [R3:耐震適合率92.0%(目標:R5 100%)]	224,000千円
小計 (R3債務負担 110,000千円)		244,000千円
合計 (R3債務負担 752,000千円)		1,101,000千円

※ 重要給水施設:病院や避難所となる学校等の施設(43か所)

浸水対策等の推進 予算額 1億6千万円(R2:9百万円)		
区分	主な内容	事業費
末端給水	【浄水場等への止水壁設置、施設嵩上げ等の浸水対策】 上田:ポンプ場3か所止水壁等、川中島:四ツ屋浄水場止水壁	29,500千円
	小計	29,500千円
用水供給	【豪雨等による高濁度対策】 活性炭注入設備増強(容量増加)	130,000千円
	小計	130,000千円
合計		159,500千円

水道施設のダウンサイジングの推進 予算額 2千万円(R2:6百万円)		
主な内容	事業費	
水道施設の効率的な運用を図るため、ポンプ施設統廃合を推進 上田:調査検討、川中島:詳細設計	20,000千円	

先端技術の大胆な活用

先端技術を用いた次世代監視制御ネットワークシステムの導入 予算額 3千万円		
主な内容	事業費	
(新) 浄水場中央監視制御装置の更新とネットワーク化の検討 ・諏訪形浄水場の中央監視制御装置の更新を推進するとともに、 次世代監視制御ネットワークシステムへの接続を検討	30,000千円	
各種業務への新たな技術の活用		
主な内容	事業費	
水道情報活用システム・共通プラットフォームの活用検討 ・各水道事業者が保有する施設台帳等のデータの横断的な連携・ 利活用促進を目指す国の研究に参画	-	
(新) キャッシュレス決済の導入 ・水道料金のスマートフォン決済の導入	1,681千円	

リスクマネジメント

安全・安心の確保に向けた取組 予算額 12億8千9百万円(R2:11億7百万円)		
主な内容	事業費	
末端給水	耐震化の推進(「未来への投資」に記載)	再掲 857,000千円
	施設の浸水対策(「未来への投資」に記載)	再掲 29,500千円
	「安心の蛇口」の整備 ・災害時でも水が出る応急給水拠点を地域の避難所となる 施設へ設置 2か所(長野市、上田市) [R3:14か所 目標:R7 20か所]	10,000千円
小計 (再掲 R3債務負担 642,000千円)		896,500千円
用水供給	耐震化の推進(「未来への投資」に記載)	再掲 244,000千円
	豪雨等による高濁度対策(「未来への投資」に記載)	再掲 130,000千円
	「応急給水ポイント」の整備 ・災害時に市村が用水送水管から直接応急給水を行うことが できるポイントを整備 1か所(塩尻市)	2,000千円
小計 (再掲 R3債務負担 110,000千円)		376,000千円
共通	災害時対応の体制整備 ・受援マニュアルの整備 ・管路情報システムをモバイル端末で利用できる仕様に改修	15,690千円
	停電時の電源確保対策(電気・水道事業共通) ・非常時電源として川中島庁舎に配備した可搬式発電機 及び搭載車両の活用方法等の検証	-
	防災訓練の実施 ・「災害時連携協定」に基づく関係市町村等との合同訓練 ・「安心の蛇口」及び「組立式応急給水栓」の活用講習 等	-
新型コロナウイルス感染症対策 ・感染防止、業務継続体制の確保	-	
小計		15,690千円
合計 (再掲 R3債務負担 752,000千円)		1,288,190千円

地域への貢献、地域との連携

広域連携の推進 予算額 1億8百万円(R2:2百万円)		
主な内容	事業費	
「長野県水道事業広域連携推進協議会」において持続可能な経営に向けた 広域化・広域連携の推進や今後の水道のあり方等を検討 (新) 協議会WGで検討・作成した「長野モデル」(統一フォーマット)に よる県営水道の水道施設台帳整備、デジタル化	55,858千円	
県営水道経営区域の関係市町村と設置する「連携研究会」において、業務の 共同化や地域の将来的な水道事業のあり方等を検討 ・モデルケースとして、経営区域が隣接する千曲市営の水道を含めた 千曲市全体の水道事業のあり方について、市と連携して検討 ・水道情報活用システム・共通プラットフォームの活用検討 (「先端技術の大胆な活用」に記載)	22,000千円 再掲 -	
(新) 浄水場中央監視制御システムのネットワーク化の検討 (「先端技術の大胆な活用」に記載)	再掲 30,000千円	
合計		107,858千円
市町村等水道事業者への支援		
主な内容	事業費	
「水道事業者なんでも相談窓口」の設置 ・市町村等の水道担当職員からの電話等による質問・相談に回答・助言	-	
「水道事業市町村支援チーム」によるお出かけ相談の実施 ・部局横断による市町村支援チーム(環境部、企画振興部及び企業局)が 地域振興局とともに市町村に出向き、個別課題に応じて支援・助言	-	
「水道事業実務研修会」の開催 ・市町村等の水道担当職員の技術力向上を図る実務研修会を開催	-	
有収率向上のための機器の無償貸与・技術支援 ・高感度音圧センサー搭載漏水調査機器の貸出し及び技術研修を実施	-	
災害応援 ・環境部と連携し、被災事業者に応急給水や技術者派遣等の応援を実施	-	

経営の安定

顧客満足度の向上 予算額 2千9百万円(R2:2千万円)		
主な内容	事業費	
きめ細かな水質管理 ・法定水質検査項目に企業局独自の検査項目を上乗せして設定した水質検査 計画に基づく、質の高い水質検査の実施	-	
修繕等への迅速な対応 ・「県営水道修繕センター」を委託設置し、24時間体制で相談を受付	23,034千円	
県営水道への理解と関心の向上を図る取組 ・広報紙「けんえいすいどう」、「お客様の声」ハガキ、企業局ホームページ、 施設見学会、ペットボトル水「川中島の水」・「千曲川の水」等	3,762千円	
(新) 新たなツールによるお客様サービスの向上 ・水道料金のキャッシュレス決済(スマートフォン決済)の導入	再掲 1,681千円	
合計		28,477千円

柔軟で俊敏な組織づくり(電気・水道事業共通)

主な内容	全体事業費
(新) 企業局スマート化推進センター設置	-
しごと改革・働き方改革の推進 ・モバイル端末等ICTの活用による生産性の向上 等	24,649千円
(拡) 持続可能な経営のための戦略的な広報の実施 ・広報用PR動画の作成 等	32,930千円